

御中

防水工事

施 工 要 領 書
タケシールPC eco CO-2工法

I. 総則

- 1) 本施工要領書は、工事におけるポリマーセメント系塗膜防水工
事に適用する。
- 2) 防水工事施工にあたっては、本要領書に従うものとし、当該記載事項に関して変更が生じた場合、又は記載なき事項については、工事係員又は監督者と協議の上、決定する。

II. 工事概要

1. 工事名称 _____
2. 所在地 _____
3. 元請け業者 _____
4. 施工業者 _____
5. 工事内容 タケシールPC eco CO-2工法

III. 施工業者組織

会社名
所在地
TEL
FAX
代表者
担当者

IV. 材料メーカー会社組織

会社名 竹林化学工業株式会社
(本社・工場)
〒577-0836 大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43
TEL 06-6721-6165
FAX 06-6720-7308

V. 防水施工範囲

防水施工箇所	防水仕様	施工数量

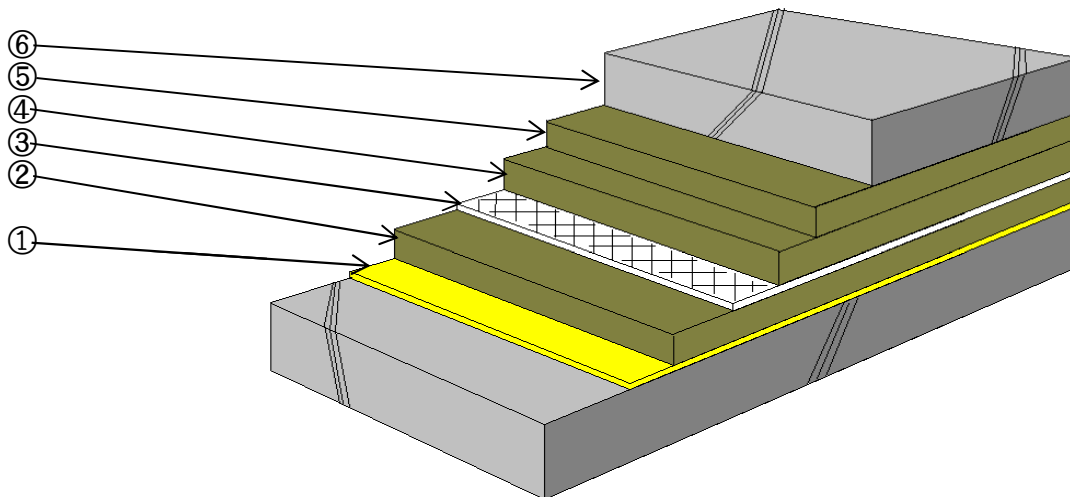
VI. 防水仕様

工程	使用材料	配合 (kg)	塗布量 (kg/m ²)	方法	作業間隔
① プライマー塗布	タケシールPC ecoプライマー		0.2	ローラー、刷毛等にて塗布	約30分～2時間
② 下塗り塗布	タケシールPC eco主剤 タケシールPC eco混和材 水	9 6 1～2	0.8	ローラー、刷毛、コテ等にて塗布	直ちに
③ 補強布貼り	補強クロス			下塗り材塗布後、直ちに補強クロスを貼り付け	約3時間～6時間
④ 中塗り塗布	タケシールPC eco主剤 タケシールPC eco混和材 水	9 6 1～2	0.8	ローラー、刷毛、コテ等にて塗布	約3時間～6時間
⑤ 上塗り塗布	タケシールPC eco主剤 タケシールPC eco混和材 水	9 6 1～2	0.6	ローラー、刷毛、コテ等にて塗布	約3時間～6時間
⑥ 押さえ層					

※平場と立上りは、同一工法となります。

※上記作業間隔は、夏季25℃・冬季10℃にての条件にて記載しております。

※押さえ層は別途工事となります。



VII. 使用材料明細

使用材料	品名	規格	製造業者
プライマー	タケシールPC ecoプライマー	15kg・4kg	竹林化学工業(株)
防水材	タケシールPC eco主剤	18kg・9kg	竹林化学工業(株)
	タケシールPC eco混和材	12kg・6kg	竹林化学工業(株)
補強布	補強クロス 1m幅	50m	竹林化学工業(株)

VIII. タケシールPC eco CO-2工法施工要領

1. 施工着手前の確認事項

【防水工事までに下記の事項につき確認】

- 1) 平滑で、亀裂・浮き・目違い等のないこと。
- 2) 水切り、打ち継ぎ目地などが仕上がっていること。
- 3) 水勾配は、下地スラブでとる。
- 4) レイタンス、塵埃・油脂類・汚れ・錆等がないこと。
- 5) ルーフドレン、パイプ等が堅固に取り付けられていること。
- 6) 欠損、脆弱化部分がないこと。
- 7) 出隅、入り隅は通りがよいこと。

2. 標準施工仕様

2-1 【防水施工手順】

- 1) 下地処理
- 2) プライマーの塗布
- 3) 下塗り材の塗布
- 4) 補強布の貼り付け
- 5) 中塗り材の塗布
- 6) 上塗り材の塗布
- 7) 押さえモルタル層(別途工事)

2-1-1 下地処理

- 1) ゴミ・砂・油脂分等の付着物は十分に除去し、清掃する。
- 2) 鉄筋・鉄線等の突起露出部分はサンダー等で除去し、平滑な面とする。
- 3) レイタンス及び、金属部分の錆はサンダー等で除去する。
- 4) 浮き水はウエス等で拭き取る。
- 5) クラックは状況に応じVカットし、シーリング材にて充填補修を行い、補強クロスによる塗膜補強を行う。
- 6) 役物まわりで塗膜補強を要する部分は、補強クロス、堅練り材等で補強する。

2-2-2 プライマーの塗布

- 1) 使用する前に、缶を逆さにし内容物が均一な状態となるようよく振ります。
- 2) タケシールPC ecoプライマーを原液でローラー、刷毛等を使用し塗布する。
特に役物まわりは念入りに、場合によっては2~3回塗布する。
- 3) 作業間隔は、夏季(25℃)で、約30分、冬季(10℃)で、約1~2時間を目安とするが、施工環境や気象条件にて変化するので、歩行可能を確認の上、次の工程に進む。

塗布量	0.2kg/m ²
作業間隔	30分~2時間

- 2) 主剤、水を攪拌しながら少量づつタケシールPC eco混和材6kgを加え、ダマが出来ないように、約3~5分程度十分に攪拌し、塗布液を作成する。
- 3) 作成した塗布液をローラー又は、ラスター刷毛、左官刷毛等にて均一に塗布する。

塗布量	0.6kg/m ²
作業間隔	直ちに次の工程へ

・施工は、出隅・入り隅・ドレン・配管周りやその他役物周りから塗布し、立上り、平場部へと勧進める。

2-2-4 補強クロス貼り付け

- 1) 補強クロスを貼り付け面寸法に合わせてカットしておきます。
 - 2) 下塗り材塗布後、直ちに補強クロスをしワよらない様に貼り付けます。
- | | | |
|------|----|------------------|
| 作業間隔 | 夏季 | 約3時間(気温25℃として) |
| | 冬季 | 約4～6時間(気温10℃として) |

2-2-5 中塗り材の塗布

- 1) タケシールPC eco主剤9kgに対し、水を1～2kg加え十分に攪拌する。
- 2) 主剤、水を攪拌しながら少量ずつタケシールPC eco混和材6kgを加え、ダマが出来ないように、約3～5分程度十分に攪拌し、塗布液を作成する。
- 3) 作成した塗布液を補強クロスを貼り付け後、直ちにローラー又は、ラスター刷毛、左官刷毛等にて補強クロスにすり込みピンホール穴ができないように塗布します。

塗布量	0.8kg/m ²	
作業間隔	夏季	約3時間(気温25℃として)
	冬季	約4～6時間(気温10℃として)

・施工は、出隅・入り隅・ドレン・配管周りやその他役物周りから塗布し、立上り、平場部へと勧進める。

2-2-6 上塗り材の塗布

- 1) タケシールPC eco主剤9kgに対し、水を1～2kg加え十分に攪拌する。
- 2) 主剤、水を攪拌しながら少量ずつタケシールPC eco混和材6kgを加え、ダマが出来ないように、約3～5分程度十分に攪拌し、塗布液を作成する。
- 3) 作成した塗布液を補強クロスを貼り付け後、直ちにローラー又は、ラスター刷毛、左官刷毛等にて補強クロスにすり込みピンホール穴ができないように塗布します。

塗布量	0.6kg/m ²	
作業間隔	夏季	約3時間(気温25℃として)
	冬季	約4～6時間(気温10℃として)

・施工は、出隅・入り隅・ドレン・配管周りやその他役物周りから塗布し、立上り、平場部へと勧進める。

2-2-7 押さえ層

※押さえ層は別途工事となります。

IX. 検査

1. 工事中の検査

- ①施工者は、下記の各工程が終了した時点で「工事中の検査」を行う。
 - イ. 躯体の欠陥部の処理
 - ロ. 中塗り材の塗布
- ②施工者は、検査で不良箇所があった場合速やかに適切な対処を行い、その結果を監督者に報告し、承諾を得ることとする。

2. 完了検査

- ①施工者は、施工完了後監督者の立会いの下に完了検査を行う。
- ②施工者は、完了検査において指摘箇所があった場合は速やかに対処し、その結果を監督者に報告し、承諾をえることとする。

X. 補追

安全管理項目

1) 管理・整理

- ①材料の保管…直射日光、降雨などを避けることのできる一定の保管場所を確保し、使用材料を保管する。
- ②湿気等を防ぐため、囲い板かシートで覆いをする。
- ③冬季の保管に注意し、0℃以下の場所に置かない。
- ④作業場所…短日時の使用材料の仮置き場及び材料の計量攪拌場所は、整理整頓に努める。

2) 墜落事故・落下物の防止

- ①足場の点検…毎日の始業前に作業足場の柵止め、固定金具、足場板の確認を行う。
- ②高所作業での安全索縄の使用を励行する。
- ③工具等の落下…重量のある物体は無論の事ハンマー、スパナ等の工具は足場板上などの高所に放置しない。

3) 火気管理

- ①火気厳禁の表示…材料保管場所、作業場所には「火気使用厳禁」表示し、必要に応じてロープによる規制を行う。
- ②喫煙場所…指定場所を設置し、指定場所以外での喫煙は禁止する。
- ③電気配線、電動工具のスパーク防止
- ④溶接作業の規制

4) 作業の安全

- ①照明の確保…暗所での作業では、十分な照明を確保できるように適切な照明器具を設置する。
- ②換気設備…作業場内の換気には、作業環境の保全及び、安全確保のため適切な換気設備を設置する。
- ③安全保護具の使用励行
- ④清潔さ…作業者は毎回清潔な物を着用する。
作業後には、必ず洗剤を使用して手洗いをを行う。

5) その他、本作業場での安全管理規定はこれを遵守する。